

## 議会運営委員会

令和 8 年 2 月 2 日（月）

午前 11 時 26 分開 会

○南委員長 皆様お疲れのところ、ただいまより議会運営委員会を開催させていただきます。

今回は、議会放送システム更新に係る議会運営委員会ということでございますので、議員全体ということで、議長の許可を得まして、委員外議員さんも含めて出席いただいております。ありがとうございます。

それでは、早速ですので、議会放送システムの更新について、事務局より説明をお願いいたします。

○高芝議会事務局長 よろしく申し上げます。

本日は、議場及び委員会室に係る議会放送システムの更新について説明させていただきます。

議場の音響施設並びに議場と各委員会室の議会放送システムにつきましては、導入当初から相当の年月が経過し、機器類の老朽化が顕著となっております。

皆様御存じのとおり、近年、議会中継における映像や音声の不鮮明さへの改善を求める市民の声が多く寄せられているほか、機器の経年劣化に伴う突発的な不具合のリスクが高まっており、円滑な議会運営に支障を来しかねない状況でございます。

このような状況に鑑み、令和 8 年度におきまして、システムの更新を図りたく、第 1 回定例会における予算計上のほうを予定しております。

それでは、事業の具体的な概要につきまして、これより濱野次長に説明いたささせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○濱野議会事務局次長兼係長 それでは、議会放送システムの更新につきまして、資料に基づき御説明させていただきます。

委員会資料の 1 ページを御覧ください。通知いたします。

まず、議会放送システムの現状の課題や問題点について御説明いたします。

現在、本会議場で使用しております議場音響システムにつきましては、昭和 62 年の導入から 38 年が経過しており、設備の老朽化が限界に達しております。マイクやスピーカーなどの構成機器の多くが既に製造中止となっており、予備部品の供給も終了しているため、故障時の修理対応は事実上不可能な状態です。また、録音

装置については依然としてカセットテープ式を使っており、媒体の入手困難による調達コストの上昇に加え、デジタル化への変換作業に多大な時間と手間を要するなど、費用対効果の面でも極めて非効率な運用を強いられております。

一方、平成24年に整備しましたカメラ等の放送機器類につきましては、制御端末等がウィンドウズ7という旧式のオペレーションシステムを使っておりますので、昨今の急速に進む情報通信技術の情勢から大きく乖離しており、これらも同様に、故障発生時のサポートや修理対応が受けられない極めて不安定な状況にあります。

また、さきほど局長からも話のありましたように、議会報告会などでは、市民の皆様からたびたび御指摘いただいておりますように、不鮮明な映像や音声の聞き取りづらさが顕著に見られております。さらには、実際に機器トラブル等の発生によりまして、放送を中断したり、中止したりするような事例も発生しておりまして、市民の皆様の傍聴環境を著しく損なっております。

このまま現状を放置すれば、システムの突発的な全面停止等により、円滑な議会運営に重大な支障を来すおそれもあり、市民への情報公開や説明責任を果たす傍聴環境を維持できなくなるリスクも高く、安定した放送体制を確保するためのシステム更新が喫緊の課題となっております。

次に、今回の更新についての基本的な考え方を御説明させていただきます。

資料3ページに更新のイメージがありますので、そちらを御覧ください。通知します。

イメージ図のほうを御覧ください。

今回のシステム更新に当たっては、円滑な議会運営の継続と事務負担の軽減及び費用対効果の最適化を基本的に考えております。

まず、議場につきましては、音響設備とカメラ等の放送設備を一体的に更新いたします。これにより、これまで煩雑であった放送手順を簡略化し、ヒューマンエラーによる放送ミスリスクを最小限に抑えるとともに、高品質な映像、音声配信を実現します。

次に、第1委員会室及び第2、第3委員会室につきましては、現在正常に稼働しているマイク設備ですとか、録音装置につきましては継続して使用し、老朽化が目立つカメラ設備のみを更新いたします。その際、費用面を考慮し、県内のほかの自治体と同様に、また、現在の本市の現状も同様ですけれども、カメラを前後2画面固定式のアングルで固定させていただくことで、コストの抑制を図ってまいります。

次に、エリアワンセグの放送機器類につきましては、エリアワンセグ放送自体が、

昨今の情報通信環境の変化により一般的な放送形態ではなくなりつつあります。新機器の再調達には技術的、費用的に現実的ではないため、現行機器をそのまま使用し、過度な投資を避ける判断といたしました。

最後、一番下の議会事務局におきましても、ユーチューブの放送、編集用に使用しているパソコンにつきましても、ウィンドウズ7を使用しているということから、今回の更新に合わせて端末の更新を考えております。

資料、戻っていただきまして、資料2ページの後段を御覧ください。

今回の更新に当たっての留意点をまとめさせていただきました。重複しますが、説明させていただきます。

本会議場につきましては、マイク及びカメラシステムを全面的に更新いたします。

委員会室については、既存のマイク設備を流用し、カメラシステムのみを更新いたします。

エリアワンセグ放送につきましては、現行機器をそのまま継続利用いたします。

委員会室の撮影アングルにつきましては、現行どおり前後2方向からの固定撮影を継続させていただくこととしております。

ユーチューブによるインターネット中継につきましては、今回の更新により高画質、高音質になりますが、エリアワンセグ放送につきましては、放送規格上の制限により、現状の画質と同程度のままであることを御理解お願いいたします。

議会のエリアワンセグの中継機器につきましては、現状の機器をそのまま継続利用することから、今後、不具合が生じる可能性が依然として残ります。万が一、中継機器が故障しますと、現在のような同時中継はできなくなりますが、防災センターにあるワンセグの放送設備に直接映像データを持っていくことで、録画による放送は可能となります。エリアワンセグの中継機器が故障した場合でも、同時中継ではありませんが、エリアワンセグによる議会放送は継続して行うことができます。

最後に、将来的に、市のエリアワンセグを使った防災情報や行政情報の放送が終了した場合におきましても、インターネット中継による議会中継が単独で継続できるシステム構成とします。

以上が、今回の更新に関しての留意事項となります。

再度、ページのほう、3ページに戻っていただきまして、最後の4番目、予算見込み・調達方法についてでございます。

まず、今回のシステム更新に当たっての機器類の費用は、約3,160万円程度となっております。

今回は、この調達をリース契約により複数年にわたって分割で支払うことで、単年度ごとの財政負担を軽減する方法を取っております。

最終的な金額は、約3,700万円、5年間のリース料の支払い後は、機器類の所有権は尾鷲市に帰属いたします。議会放送の機器類は、一般的に10年以上使用している自治体が多いことから、本市においても10年から15年程度はこのシステムを継続使用できると考えております。

調達方法は、プロポーザルによる提案方式、更新時期は令和8年7月から8月、もしくは10月から11月の閉会中を考えております。

資料の説明は以上です。

○小川議長 先ほど、エリアワンセグについて、不具合が生じた場合にはライブ中継はできなくても、録画中継できるということだったんですけど、平成27年当時、議会サイドが加入率の低いケーブルテレビではなく、ワンセグを活用したという、議会改革の一環としてそれをやったというあれがあります。議会改革に係る、中継に係る費用、そういう財政負担を可能な限り抑えるという意味においても、エリアワンセグの活用を選んだわけなんですけれども、ワンセグ電波の視聴は終了すると私は認識しておるんですけど、今後の見込みはどうなんでしょうか。

○高芝議会事務局長 説明させていただきます。

議長御指摘のとおり、テレビ局などでは、既にワンセグ電波を使った放送のほう、終了しております。なお、国のほうでは、既にワンセグ電波のほうをソフトバンクが使用することを承認しておりますが、更新には10年程度の期間を要するものと思われまして。その間に、本市のエリアワンセグは、現状と別の周波数で使用できるように対応する必要があります。

また、このようなワンセグ電波の状況、見込みもございまして、エリアワンセグの受信機器につきましては、今後の生産が計画されておらず、全国的に供給のほうが困難な状況が見込まれると聞いております。

以上でございます。

○小川議長 今回のシステム更新に際しまして、議会としては、将来的にも議会中継に係る費用、財政負担を可能な限り抑えるという考え方は継続すべきと考えますが、執行部におけるエリアワンセグを活用した防災情報などの運用は将来的に終了する場合でも、ユーチューブ、インターネット中継による議会中継というのは確保できるんでしょうか。

○高芝議会事務局長 説明させていただきます。

議長御指摘のとおり、エリアワンセグの放送が終了した場合におきましても、既存のインターネット中継、いわゆるユーチューブの放送が単独で継続できる、今回の仕様のほう、そのようになっておりますので。

なお、今回、議場及び委員会室のカメラなどの機器更新のほうも予定しておりますので、インターネット中継に関しましては、先ほど、濱野のほうからも説明させていただきましたが、かなり高画質化のほう、できるものと考えております。

説明は以上でございます。

○小川議長　　前もケーブルテレビを諦めたというのがあったんですけど、今、ケーブルテレビもいいんじゃないかという議員さんもいるかと思っておりますので、ケーブルテレビ、今やるとしたら、費用、どれぐらいかかるのか、一応参考までに。どうなんですか。

○高芝議会事務局長　　すみません、データのほう、古いんですが、平成27年にエリアワンセグによる議会中継の導入を検討した際に、事務局のほうで調べさせていただきましてところ、ランニングコストで、年間約460万ほどの経費がかかるものと聞いております。

○小川議長　　初期投資も結構かかるんですね、千何百万って聞いた覚えがあるんですけど。

○高芝議会事務局長　　議長おっしゃるとおり、平成27年当時なんですが、約1,500万ほどの初期費用がかかると。当時はアナログ放送からデジタルへの切替え時期でもありましたので、現在は多少数字のほう、変わっておるかもしれないんですが、当時は約1,500万の初期費用がかかると説明させていただいております。

○南委員長　　よろしいですか。

このシステム改修について御意見のある方、御質問と。オブザーバーの方でも結構でございますので、御発言をお願いいたします。

○中井議員　　議会放送システム等の更新、ありがとうございます。

更新のことにに関してなんですけど、この間もお話させていただいたんですけど、こういった議会とか、委員会があるごとに、尾鷲市の公式LINEとかで周知していくということとかも含めて考えていくのはどうでしょうか。

○南委員長　　局長、答弁できる。

○高芝議会事務局長　　説明させていただきます。

中井議員さん、ただいまおっしゃっていただいた、市の公式LINEの活用につきましては、従前にも何名の議員さんからもお話いただいて、議会内で検討したと

いう経緯もございます。

ただ、熊野市をはじめ、他市の運用を見ておりましたが、もちろん市民の中にはLINEで議会情報をお知りになりたい方も見えるかとは思いますが、ニーズのほうは多くないという判断に基づいて、現状の運用とさせていただいております。

○小川議長　　ちょっと分からんもんで、ユーチューブやと何回でも見えるんやよね。ライブじゃなくっても、見たいときに。それだけ確認したかっただけ。

○西川委員　　今の機器が危ないといって、それからでは遅いから、もうちゃっちゃと変えたほうがいいんじゃないですか。そやないと、空白の時間があって、市民の方が議会の内容を分からないというタイムロスができないように、ちゃっちゃと変えましょう。

○高芝議会事務局長　　西川委員、ありがとうございます。

先ほど濱野のほうからも説明申し上げたんですが、なるべく議会運営に支障を来さない夏頃の更新をまずは目指すんですけども、特に議場に関してはマイクの更新がございますので、その辺、議長、議運の委員長等に御相談の上で、慎重に対応のほう、進めてまいります。ありがとうございます。

○南委員長　　このあれでいくと、12月定例会は新しいシステムで行えるという考え方ですか。

○高芝議会事務局長　　できれば9月を目指してやりたいと思っております。

○南委員長　　可能なんですか、9月も。

○高芝議会事務局長　　頑張ります。

○南委員長　　できれば、議長、9月定例会を目指して更新をお願いいたします。

他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○南委員長　　じゃ、ないようですので、議会運営委員会を終わります。長時間にわたり、ありがとうございました。

(午前11時43分 閉会)